

## チリ 米国の関税免除とシステムアプローチ停止に対する業界の反応

[FreshFruitPortal](#) 2025年11月24日

### 米国の関税免除から主要輸出品が除外されたことは「遺憾」

初めての海上輸送による中国向けチリ産サクランボの出発式典の最中、チリ果実輸出業者協会 (Frutas de Chile) のイバン・マランビオ会長は、同国の産業にとって最大の貿易相手国の1つである米国との関係等について考えを述べた。

FreshFruitPortal.com(本サイト)との会話の中で、マランビオ氏はトランプ政権による最近の関税免除措置と、同大統領令がチリの果実産業に与える影響について語った。同氏は生食用ブドウが免税の対象から外されたことを嘆き、主要農産物を関税の負担から守るために努力を続ける必要があると強調した。

さらに、同氏はチリの生食用ブドウ産業に影響を及ぼす厳しい展開についても言及した。9月にワシントン D.C.の裁判所がシステムアプローチによる輸入を停止したことにより、両国間の24年以上にわたる取り組みが覆された。マランビオ氏はこれを「極めて不当な決定」とであると評した。

### 問 システムアプローチに関してチリにおける次の段階は何か

システムアプローチが使えないので、我々は既に燻蒸処理を行っている。次の段階としては、米国農務省 (USDA) と同省動植物検疫局 (APHIS) がこの極めて不当な決定に対して抗告するのを待っている。

チリ産生食用ブドウ輸出に関するシステムアプローチの承認には24年以上を要した。議論と決定をまとめた記録は3万ページ以上に及ぶものであり、米国の1人の裁判官が数カ月で不適切と判断したことは極めて不当である。我々はこの決定を覆せることを願っている。

### 問 困難なのは、この決定がチリに対してではなく、米国農務省に対して下されたことだ。米国農務省はチリ政府と協力しているか。直接的な関係はあるか。

はい。我々は技術面で彼らと直接関係を持っている。チリの農牧省 (SAG) と米国農務省は協力しているが、抗告の決定は政治的レベルで行われるため、その決定を待っている。

### チリの重要な輸出品に対して関税免除なし

### 問 生食用ブドウに関して、ドナルド・トランプ大統領は多くの果実及び農産物に関税免除を発表したが、生食用ブドウは含まれなかった。この大統領令についてチリ果実輸出業者協会はどのように考えているか。

全体を見渡すと、残念なことに免税対象となった102ページに及ぶ品目リストには、チリにとって重要な品目であるブドウ、ブルーベリー、核果類などが一切含まれていない。それにワイン、牛肉、サーモンも含まれていない。我々がこの決定に含まれていないことは遺憾だ。

良い面を見れば、免税対象にはアボカド、オレンジ、キウイフルーツが含まれており、それらについては喜ばしい。しかし我々は待っている。我々の主要輸出品、少なくともブドウとブルーベリーが免税されることが必要である。そうでなければ10%の追加コストにより大きな影響を受けることになる。

### 問 チリと米国は大きな貿易相手である。この新しい関税免除の状況において、チリは競争上不利な立場にあるか。

我々の主要な競争相手であるペルーは同じ状況にある。しかし同時に、我々は南半球の他の競争相手よりも良い立場にある。ブラジルは50%、南アフリカは30%、ニュージーランドは15%の関税がかけられている。その点では我々は彼らよりも有利である。

しかし保護主義は、どのような形においても、誰にとっても良くない。関税や関税免除のような保護主義的措置が競争相手に適用されると有利に感じるかもしれないが、それは近視眼的である。なぜなら、長期的には市場の他の部分がどうなるか分からないからである。例えば我々はアジア市場で大変強いが、一方で南アフリカは30%の関税のため米国に輸出できない。その結果、彼らがアジア市場に果実を投入し、我々の果実が影響を受ける可能性がある。何が起こるか分からない。

我が国として、特に当協会として、あらゆる形で常に開かれた市場を望んでいる。

**問** チリは米国に多くの果実を輸出している。ブルーベリー、アボカド、生食用ブドウについて言及されたが、米国で現在成長している新しい品目はあるか。チリはそれらを促進する取り組みを行っているか。

はい。我々は2年ごとに米国への資金投入を増やそうとしている。量的に見て、米国は世界で最も重要な市場であるため、我々はそれを大切にしている。

我々は多くの活動を行っている。実際、今後数カ月のうちに新しい取組みが発表される予定である。グローバルグレープグループとの生食用ブドウに関する取組みは我々が行っている大きな事業の1つである。需要を増やすため、ペルーやメキシコなど主要な競争相手と協調した取組みを行いたいと考えている。

全ての市場、特に米国や中国のような最大の市場において、我々の取組みの焦点は消費を増やすことである。我々は消費者に最高の体験を提供できるようにするため、刺激的な新しい販促活動を行っている。